

2025年乙巳 蛇敬繁榮

一陽來復 フロンティア飛躍の巳年

写真はタレント・センド富士

二〇二五年乙巳（きのとみ）がスタートしました。皆様におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

日本では、古来より「八岐大蛇」をはじめ、多くの神話に「蛇」が登場し、知恵と財産をもたらす神として信仰の対象とされてきました。また、脱皮を繰り返すことから復活の象徴でもあります。混沌とした現在の日本が、その汚れた皮を脱ぎ捨て、再び世界から敬愛され、指導的役割を担えるように再生出来る巳年であるとお大いに期待しています。

二〇二四年四月の報酬改正により、全国の就労系施設は大きな打撃を受けた事は、神戸新聞にも掲載され、これまでのNEWS LETTERでも伝えました。その後、マスコミから後追いニュースは報道されておりませんが、最低賃金アップもあり、現実問題として更に厳しい経営状況になっている施設が多くなってきたという事は容易に想像できます。神戸新聞で報道された時点で5千人の解雇者が、年末までに相当増えているものと懸念します。

六月からスタートしたB型フロンティアにおいては、A型当時と比べ、すっかりと少なくなった利用者さんが、夢である一般就労を黙々と目指し、これまでと同じ作業をこれまで以上に熱心に取り組んでいます。しかし、ハローワークに日参しても、求人票が出てくる訳で無く・・・また、失業保険が切れる人もおり、私たち指導員においても、一般就労へと導くことが出来なかった無力感を感じ、指導の在り方自体を悩んだりもしています。失業保険の給付期間や、解雇された障がい者の皆さんのアフターフォローは、施設がどうする事も出来ない問題で、こうした点を政府としてしっかりと対策を講じなければなりません。石破総理もこの現状をしっかりと認識し、早期の解決に向けて動いて欲しいと切望しています。

昨年九月に発行した第2号で、「困難を、一つの目標に向かって努力し、乗り越えた先には、きっと明るい未来がある」と言う思いで、「雲外蒼天」「万里一空」を表題としました。「万里一空」の思いで施設運営している中で、九月に、一人の利用者さんが相生のドラックストアに就職しました。私も、何度か職場見学に伺いましたが、明るく一生懸命に働いており、喜んでいました。十二月からは、8時間勤務となりました。正に、蛇が脱皮し、より大きく成長している様に感じました。今年は、このようなニュースが多く発信できる様にしなければなりません。

「一陽來復」私たちフロンティアにとりまして「再生」の「巳年」とせねばなりません。これまでの皮をきつぱりと脱ぎ捨て、ひと皮むけたフロンティアに！そして、もっととっと輝き、未来に向けて羽ばたいて参りたいと考えております。どうぞ、今年もご指導ご鞭撻を頂きます様お願い申し上げます。

写真：三浦明神大神神社

フロンティア
重大ニュース

1. 5月31日就労継続支援A型廃止 33名の利用者さんを解雇する その後、2名が一般就労に、8名がA型作業所に就く
2. 6月1日、就労継続支援3型16名で再出発
3. 4月1日 12年間利用した0君が一般就労に就く 今も元気に働いています
4. ラスクの新製品「メーグルとくるみのラスク」販売開始 期待の大型新人！
5. 平均工賃23,997円/月（6月～11月の平均額）全国平均、兵庫県平均を上回りました！

二〇二四年フロンティア重大ニュース

2024年は、元日に能登半島で震度7の大地震。しかも、翌2日は、羽田空港で海保機と日航機の衝突炎上と言う、映画の1シーンのような衝撃的な事故が発生。誰もが予想すらしなかった悪夢のようなスタートとなりました。明るい話題としては、何よりも大谷選手の大活躍。パリ五輪での日本選手の大活躍等々がありました。また、20年ぶりに新紙幣も発行されました。ただ、政治の世界では、裏金問題に始まる政治不信が一気に広がりました。フロンティアに於いては、2月に厚生労働省から発表された、令和6年度報酬改正は、正に「激震」以外の何物でもなく、背筋が凍り付きました。その影響で、6月から就労継続支援B型に転換しました。さて、2025年巳年はどんな年となるのでしょうか？

2024年のフロンティア重大ニュースを振り返ってみました。

今月の作業紹介 ラスク

I ♥ MY JOB!

今月は、フロンティアが創業時から取り組む、ラスク製造についてです。主婦の店さん、旬彩蔵さん、パオーネさんで、もしくは、様々なイベントで「赤穂の手作りラスク」をお買い求め頂き誠に有難うございます。現在、14種類のラスクを製造しています。作業工程と実際に製造に携わる利用者さんの声を紹介します。

1. バケットのスライス：パン用の電動スライサーでスライス
2. スライスしたバケットを空焼きします。

ポイント1

3. 赤穂の粗塩を塗り、一枚づつ丁寧にクリームを塗ります。
4. 再度、しっかりと20分以上オープンで焼きます。
5. 焼き上げたラスクを大きさを考えながら袋に入れます。

ポイント2

6. 袋入れが終わり次第、後片付け、出荷作業、在庫管理、掃除を行い、一日の訓練は終わります。

ポイント3

毎日、3種類から4種類のラスクを作ります。当然、衛生面には細心の注意を払い作業します。そして何より、愛情をしっかりと込めて製造しています。気配り、段取りが必要な遣り甲斐ある訓練です。

6月からラスク作りを頑張っています。今では、スライス以外の全ての工程が出来るように努力し、大きな自信となりました。毎日、沢山の美味しいラスクを作っています。

ラスク作業自体はしんどいけど、作ったラスクがたくさん売れているので、遣り甲斐を感じています。やれば出来るという自信になりました。新しい事にもチャレンジしたいです。

編集後記

・早いもので、B型フロンティアとして7ヶ月が経過しました。利用者さんが半減しましたが、以前と同じ作業を継続して行っており、本間に忙しく、ドタバタである間に過ぎたというのが実感です。ラスクの製造は、初めてクリームを塗る人ばかりでどうなるかと不安で一杯でしたが、一番忙しな12月をチームワークと努力、工夫で乗り切りました。利用者さんにとって、大きな自信に結びついた事と思います。他の作業も少ない人数でやり遂げました。「諦めは人の成長を止める」と言われる通り、目標を持つて邁進する事で、少しづつ成長していると教えられた一年でもありました。蛇は脱皮する事で成長します。利用者さんもフロンティアも一皮脱ぎ、「成長の巳年」と致します。

きつと明るい、そして、もっと輝く、みんなの未来！

発行：特定非営利活動法人フロンティア

主所：赤穂市加里屋1096-28

☎0791-43-2255 Mail: frontier1201@mx41.tiki.ne.jp

URL <http://www.npo-frontier.com>

(現在、改修工事中。近日、リニューアル公開)

併施設：放課後等デイサービス きつと・もっと・みらい